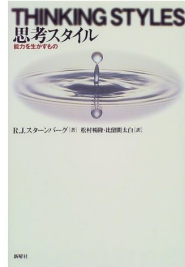


Thinking Styles
思考スタイル



思考スタイルとは

- ▶ プロジェクトや作業の成功／失敗の原因
 - ▶ その人の能力
 - ▶ その人の努力
 - ▶ **スタイル**

- ▶ 思考スタイル (Thinking Style) とは
 - ▶ 「考え方」や「行い方」の好き嫌い

- ▶ 例) どんどん自分なりのやり方を試すのが好き
決まった作業をこつこつこなすのが好き

思考スタイルとは

- ▶ スタイルは能力を使う時の好み。能力そのものではない。
- ▶ スタイルと能力の適合から相乗効果生まれる。
- ▶ 人生の選択は能力ではなくスタイルに合う場合がある。
- ▶ ただ1つのスタイルがあるのではなく、スタイルのパターンがある。
- ▶ スタイルは課題や状況で変わる。
- ▶ スタイルは社会化される。
- ▶ スタイルは生涯の間に変わることもある。
- ▶ スタイルは教えることができる。
- ▶ あるスタイルがどれだけ尊重されるかは、時期や場所に依存する。
- ▶ スタイルは絶対的に良い／悪いが決まるのではなく適合が問題である。

思考スタイル

- ▶ 機能
 - ▶ 立案型・順守型・評価型
- ▶ 形態
 - ▶ 単独型・序列型・並列型・任意型
- ▶ 水準
 - ▶ 巨視型・微視型
- ▶ 範囲
 - ▶ 独行型・協同型
- ▶ 傾向
 - ▶ 革新型・保守型

因子1 因子2 因子3 因子4

立案	<u>.79</u>	.36		
順守			<u>.89</u>	
評価	.62	.39		
単独	<u>.81</u>			
序列	.66		.42	
並列		<u>.74</u>	.31	
任意		<u>.70</u>		
巨視	.58		.44	
微視		<u>.78</u>		
独行	.53	.36		<u>-.67</u>
協同				<u>.87</u>
革新	<u>.68</u>	.42	-.40	
保守			<u>.91</u>	

思考スタイルとは

- ▶ 人の考え方の好み
- ▶ 立案型、順守型、評価型に分類

立案型・・・アイデアを提示



順守型・・・決められた手順に従う



評価型・・・評価することを好む



(参考文献: R. J. スタンバーグ 「思考スタイル」)

立案型

- ▶ 一言で言うと
 - ▶ アイディアを作り・提示したい！



- ▶ 好み
 - ▶ 自分のやり方で物事を進めるのが好き
 - ▶ 創造すること、まとめること、計画を立てることを好む
 - ▶ 自分自身のルールを作ろうとする



順守型

- ▶ 一言で言うと
 - ▶ 決められたことに従い、実行！



- ▶ 好み
 - ▶ 実行・行動するのが好き
 - ▶ 何をどのようにするのかという指示が与えられることを好む
 - ▶ 規則に従うことをよしとする



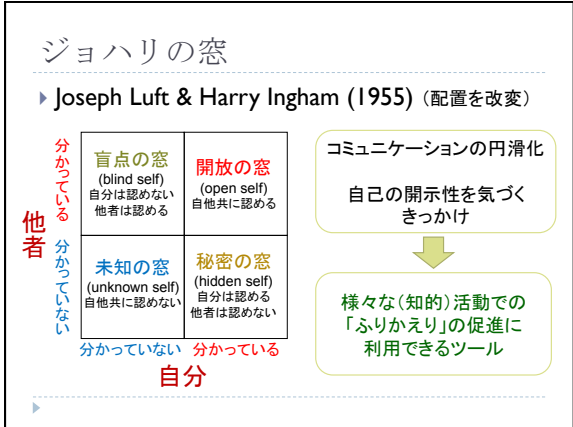
評価型

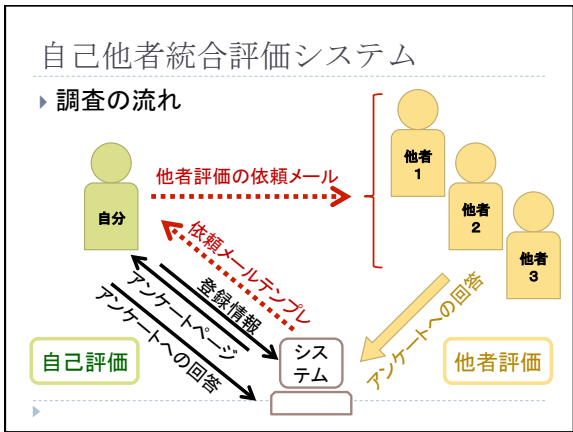
- ▶ 一言でいうと
 - ▶ やっていることを評価しておきたい！

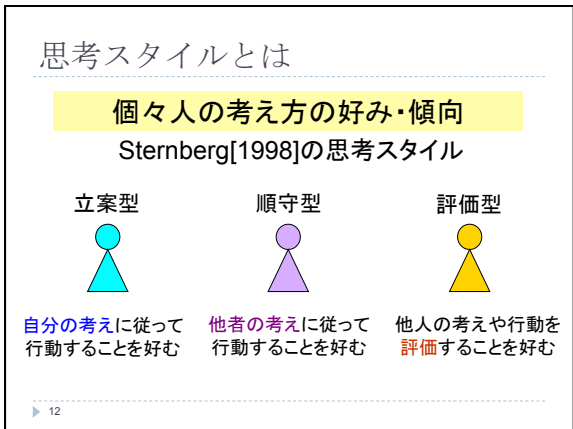


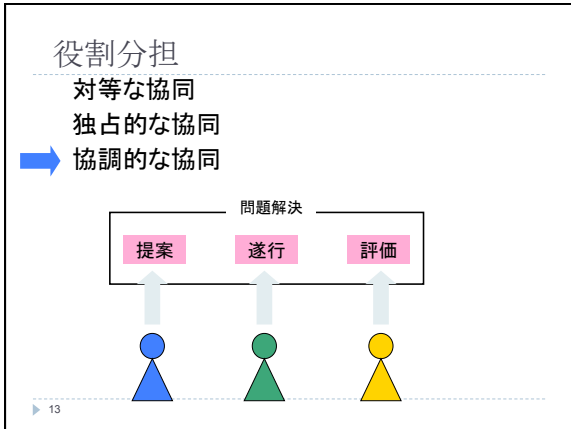
- ▶ 好み
 - ▶ 規則や手続きを評価することが好き
 - ▶ ものごとを判断することを好む

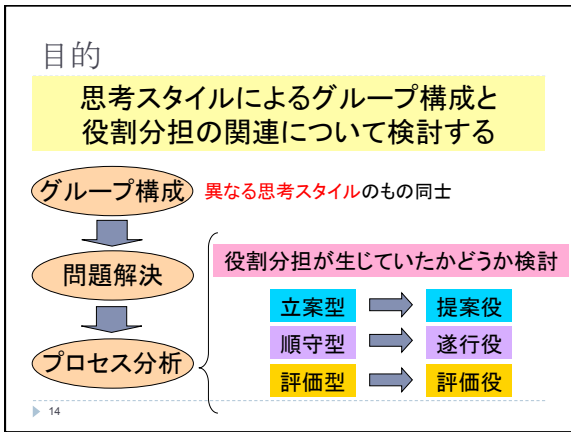










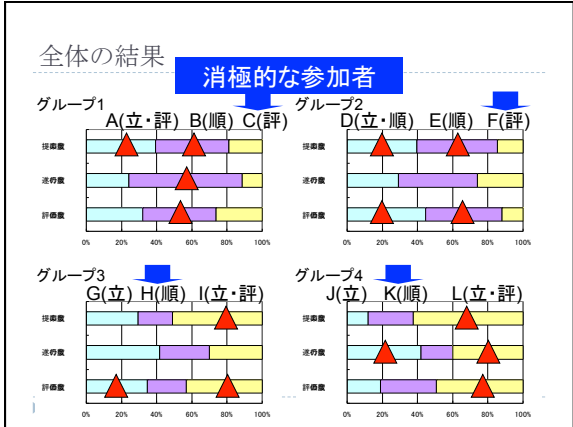


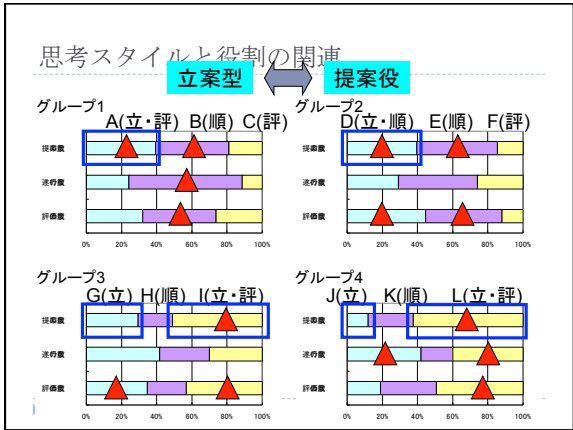
構成したグループ

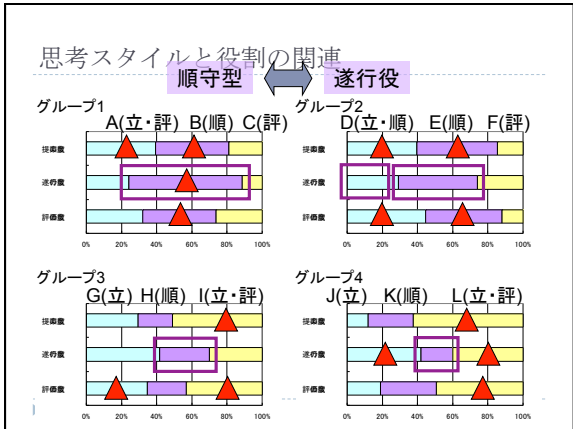
グループ構成 → 問題解決 → プロセス分析

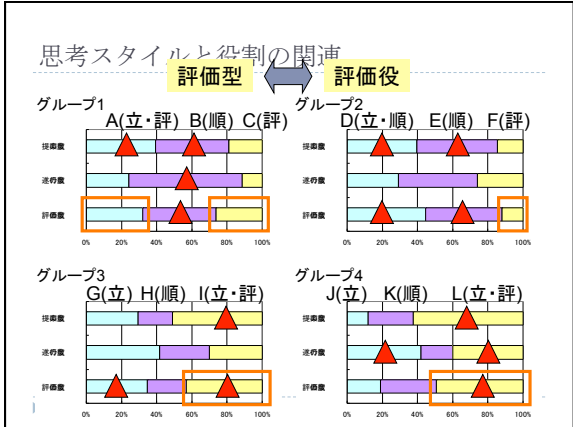
グループ	被験者	立案偏差	順守偏差	評価偏差
グループ1	被験者A	2.47	-0.90	2.58
	被験者B	-0.10	1.53	-1.37
	被験者C	-0.37	0.45	0.55
グループ2	被験者D	1.53	0.99	0.43
	被験者E	0.44	1.40	-0.65
	被験者F	-0.10	0.45	1.14
グループ3	被験者G	1.26	-0.36	0.19
	被験者H	-0.10	0.72	0.19
	被験者I	0.99	-1.44	0.79
グループ4	被験者J	1.12	-0.49	0.43
	被験者K	-2.26	1.26	-1.37
	被験者L	0.71	-1.17	1.86

15









まとめ

目的

役割分担が生じていたかどうか検討

- 消極的な参加者がいた
- 立案型のみ提案役に関与

立案型 → 提案役

順守型 ✕ 遂行役

評価型 ✕ 評価役

役割分担は生じない
